

1. 件名：中部電力株式会社による浜岡原子力発電所1号原子炉施設及び2号原子炉施設において用いた資材に含まれる放射性物質の放射能濃度の測定及び評価方法の認可申請に関するヒアリング

2. 日時：令和5年9月21日（木）10時00分～12時00分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（一部、TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

研究炉等審査部門

栗崎企画調査官、真田安全審査官、大島原子力規制専門員

技術基盤グループ

放射線・廃棄物研究部門

酒井上席技術研究調査官、柚木主任技術研究調査官、仲宗根技術研究調査官、川崎技術参与

中部電力株式会社

廃棄物管理課 課長 他4名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っております。

6. 配布資料

資料1 前回申請書の概要について

資料2 法令等の要求事項への適合性確認

資料3 不確かさの説明に係る表現の見直し

参考

- ・ 中部電力(株)から浜岡原子力発電所1号原子炉施設及び2号原子炉施設において用いた資材に含まれる放射性物質の放射能濃度の測定及び評価方法の認可申請書を受理（令和5年8月31日）

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/WAS/170000001_00012.html

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	こちら規制庁の青島でございます。そうしましたら、ただいまより、金岡議員。
0:00:07	方法。
0:00:13	できないと思います。
0:00:16	関西させていただいた資料説明。
0:00:21	はい。
0:00:21	まず、中部電力川合です。先日ですね、10日のヒアリングでコメントいただきました対象物の切り分けの考え方ということで、
0:00:33	まずですね、前回と今回の対象物、ものとしては違いますけれども、申請上ですね、切り分けといいますか、申請上で確認できないと、というようなコメントでした。
0:00:48	それですね、まず我々現状で管理してる方法の説明をさせていただきますと、対象物のまず特定としてではですね浜口2号機の設備に、
0:01:01	PIDというものをバレ負担してございます。データベースの番号というもので付番しております、それぞれの番号に対してですね、機器名称。
0:01:14	また大きいユニットですね、あと機種コードと、ここは形状の構造のようなものです。また系統の構造も付番してございます。さらに表面積でしたり、複数の情報が一つのデータベースの番号に、
0:01:30	紐づいてるものでございます。
0:01:33	1事例ではございますが、給水系の系統としましては、一つの事例ですけれども、こちらの枠の中ですね。
0:01:46	まず一つ、代表にさせていただきます、これ原子炉給水、給水系となります。復水器で復水水なったものがですね、現象に戻るためのポンプがありまして、その、
0:01:59	中ですね、理事長入れる前にもう一度温める系統のところを少し抜粋したものでございます。
0:02:08	そちらを拡大したものがこちらになります。
0:02:13	まずこちらの1課から、細かくて少し恐縮ですけれども、会場で行っているものですね、こちらが前回認可いただいたところの対象物となっております。
0:02:27	また緑色を2つというものでございますが、こちらについては今回の申請に対象物となっているものです。
0:02:38	もう一つ下に判例としてですね黄色に塗ってございますがこちらは申請していないものとなっております。考え方基本的な考え方を説明しますと、
0:02:51	まず最初に認可いただいたところですね、2017年頃に申請してございますが、その前に解体工事のですね主に第二段階の前半。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:04	に改定するという工事契約の中ですね、改定するとしているところを対象にしているものでございます。
0:03:11	今回ですね、その中で工事の進捗等もありまして、今回ですね改めて緑を塗るところの申請を行ったものです。
0:03:22	また黄色のものは、なぜ申請していないかというところですけども、いろいろ理由としまして二つございまして、一つはですねケーキ。
0:03:33	系が多いヨシイ系とかですね、そういったものはですね、表示されてるところが一部ガラスだということもあってですね、今回の申請対象、金属ということもあって、
0:03:44	その分離する分別する作業等ですね、そういうところに少し手間がかかるということもあって、今回申請していない、前回ですけども申請していないものです。
0:03:55	さらに便バルブもいくつかございます。こちらのケースで加熱機というヒーターの中に、お水を張ったりですねまた阿蘇ツアーはったときの、
0:04:06	空気を抜く弁だったり、或いはその水を抜くドレン弁であります。そういった非常に小さい弁、というのはですね、実際中にはですね、汚染の系統となつてございますので、
0:04:21	助成が必要になるんですけども、その際ですね、この辺の小さい弁を切断して、中を開けて、そこを除染するというような、
0:04:31	少し手間が発生するというものになりますので、こういうのは入れていない。
0:04:36	いうことになってございます。そういった考え方で対象物選定してございまして、
0:04:44	リストとしてはですね、こういったリストがございまして。さっき、先ほどの赤枠で示したところのですね、前回申請対象に入れたものはですね。
0:04:55	菅の方でハッチングさせていただいております。引いたケースで加熱機だったり配管。
0:05:02	また今回申請対象になってますのは第2回って書いておりますが、緑色の方の配管に入っております。
0:05:13	今回申請対象としていないものについてはホバリングだったり、ケーキに関するものは、黄色で申請対象としていない。
0:05:21	このように、対象物の切り分けでまた現場の管理としては、このデータベースナンバーを基ずつ、実際ですね、今回の申請対象を、今現場運用してますのは、今認可いただいているというものですから。
0:05:39	この赤字、赤いんですね、なってるかどうかというのを、現場で確認してですね、記録上の測定を研修する際に、この番号を確認して、
0:05:50	申請対象であるかどうかを確認してから、収納をしてございます。それを記録に残して、最後承認をしてございます。その後測定評価を行つてると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:02	そのような管理をしてございます。切り分け方としてはですね二つほどご提案させていただきます。まず一つとしてはですね、
0:06:16	主直接コメントいただいたですね、対象物の切り分けを親切上では、なかなか難しいところではあるんですけども、まず前回の対象の考え方と、
0:06:28	今回申請退職角を選定の考え方を、基本的な考え方を記載させていただきつつ、またこの機器IDで管理してるということも、
0:06:39	明記させていただいて、現場の管理事項としても、しっかりそこを記載すると、そういうことで、我々の管理を明確にしてですね、対象物の申請上の切り分けというのは、
0:06:53	なかなかそこは解決してない、案ではあつて恐縮ではありますが、そういうところで一つ提案させていただきたいと思います。
0:07:02	もう一つ第2案ですけどもこちら本当に対象物の切り分けを確実に申請書上でですね、明確にするということでありまして、
0:07:12	我々としては、このデータベースナンバーですね、今回の申請対象でいきますと1号で大体4500個で2号で別な線、法定度を合わせますと一万二、三千ですけどもこちらの
0:07:28	番号を記載、掲載するっていうのは一つあるかとは思いますが、
0:07:34	こちらは非常に煩雑になるかと思しますので、ご相談をさせていただきたいと考えております。
0:07:42	説明は以上となります。
0:07:54	はい、規制庁さん。
0:07:56	資料、説明してもらいますけど、ちょっとそれは面談資料で、てしまった方がいいと思います。
0:08:04	ちょっと切り分けの話はその説明ありまして、大体状況はわかりましたけど、ちょっと今日この場でどっちがいいともちょっと言えないので、
0:08:15	こっち考えて、多分これ表の場でもちょっと議論した方がいいと思うんで。
0:08:22	思います。なんだけど
0:08:26	結局その前回の認可D。
0:08:30	書かなかった話を、今回説明しないといけないことになっちゃってるわけですねそう。
0:08:37	ということ、やり方として、
0:08:39	だからそれはそれでいいと思うんだけど。
0:08:43	前回でコミットしたのは
0:08:46	何か重量とかを出せると思うんで。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:49	その重量の具体を動作したのか、どの機器番号に対しての総重量なのかっていうのは、書いてございませんでしたけど、
0:09:00	今回関係規則が変わったり評価も変えたので、活動も、前回の認可と今回の認可でオーバーラップするっていう事情もかんがみて、
0:09:12	どっち側の申請の物なのかっていうのをしっかり明確化しないといけないっていう意味を持って、今回側の申請で、
0:09:22	前回の申請と今回の申請をどう切り分けたのか。
0:09:26	ていうのを書くことにいたしました。
0:09:29	前回のその明記はしてないんだけど
0:09:33	あとは前回の認可、認可申請の補正って概念はないはずなんで、
0:09:39	認可とまた認可になっちゃうんで。
0:09:42	あんた、前回の委員会で、記載してなかったやり方っていうのをちょっと明確化したもんですっていう話になったんです。
0:09:50	ちょっと、どっちにするのかみたいのはちょっと。
0:09:55	考え方みたいのをクリアカットにちょっと少ししっかり書き書き切ってもらえるのか。
0:10:01	そのエビデンスとして 4500 とか何か何ぼっていうのを、クリアカットに書き切るのか。
0:10:09	あともう 1 個そのなんかこの図面ベースで、
0:10:13	ここの、このポンチ絵ぐらいで書き切れるんだったらすぐ前で終わるんであれば、
0:10:18	住まいで終わらせるのかとかってちょっとどういうのがいいのかっていうのは、
0:10:23	こっち側のチョイスっていうか、どっちかちょっと申請者側でもその、他の電力とかとも相談した方がいいんじゃないですかその他の電力もその廃止措置計画系。
0:10:33	プラントが増えてきて、その中部電力と同様なスタイルで申請するケースも出てくると思うんで。
0:10:43	一つの不安、イグザンプルになってその後段の人もちょっと右倣えでそれを使ってくるかもしれないんで、どういうやり方が申請のお作法としていいのかって言えば、
0:10:54	何とか少し検討します。それでちょっと提示してもらった方がいいかもしれ一番申請者じゃないから、A案とB案ではどっちもいって話にしかならないと思うんだけど、
0:11:06	もしB案でいくんだとするとその 4500 個ぐらい、機器。
0:11:11	の情報がでるからそれ 1 個 1 個 1 個確認すると審査の期間が延びますねとかそういう話があると。
0:11:17	思いますけど、どっちのスタイルだといいのか、周りと事業者のチョイスと思うから少し、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:24	ご検討以下、開口で確実にその、
0:11:27	指摘として言わせてもらいたいと思っているので、それに対してどうするのかわかるのは、ちょっと御社なり、電力の中でもちょっと相談してもらえればというふうに思いますけど、あります。
0:11:41	以上ですけど。はい、若井です。ありがとうございます。まずヒアリング資料とすることを廃止をしました。
0:11:47	またすみません提案についてですね具体的に申請書に落とし込むとどうなるかということを示すようにいたしますんでまた電力中で相談ということも解消いたしました。ですのでまず審査会合を、
0:12:04	のタイミングでは、その次コメントは一緒です、申請書で今切り分けといいますか、考え、基本的な考え方と管理の仕方を、各アイデアを保守、申請書ベースで変えたらどうなるかと。
0:12:18	いうところ、仮に参考としてですね、B案といいますか、PIDを掲載する場合はあれば、一応 4500 円 2 本 7000 ございますので、合わせると、
0:12:32	三田美的ぐらいになるかというところは、少しお示ししたいと思っています。私ですねコメントいただいたですね、この系統図のようなものを、すべてですね、載せるのは、なかなか駒井数的には難しいかなという感触を持ってございますので、
0:12:51	どちらかという、周りを考えますが、どちらかの方から、現実的なのかなとは考えてますが、こちら考えて、またご回答したいと思います。
0:13:03	規制庁賛成規制との関係だと、私も検査のことは知らないんですけど。
0:13:10	成功人とか使用前検査、原子力規制検査で同じことが起こってんじゃないですか。
0:13:17	やり方として昆田井が初の方作法いらんのか、それとも何か似たようなことはあつてそんな時に、
0:13:25	どのレベルまで変えてどう処理してるのかわかるというような答えがあるような気がするんで他のその、
0:13:32	規制との関係で、申請書類臭いもちょっと調査して、
0:13:40	するといいいんじゃないですかね。
0:13:44	うん。規制庁の阪井ですけどこれ、一つの計画とかの方で、どこまで除去したとかわかるのは何か記録で残されてないんです。
0:13:54	副主任、高江洲配置計画で、その工事の進捗とかで、ここまでするやつというの、それは何か品質記録とか取ってるものもないんですか。
0:14:05	荘司中川です現場の記録ではもちろんとってございます。ただ廃措置計画自体に書いてるわけではございません。どこまでやるっていうのを書いてるわけではないわけですね。はい措置計画ですと、どういった対象物を解体今できるかどうか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:21	いうところの記載はございます。いや、それに座って、現場の施工管理の中で、どうされてるかもっていうのは本来だったら、体制できると思うんですけども。
0:14:32	ただ、交通にちょっと不思議なのは、こことって3.1人なのかなと。
0:14:40	いや、
0:14:42	言えば、大体同一性とかも含めて、仕様は1回間とか決めてますけど、主要配管とかですね。
0:14:51	それを起こした附属機関の役所関係費が始まっているんですけど、質問でもないじゃないですか。このサイトから割れております。主事の河合です。まずですね、このAの、
0:15:05	例えばですね、入口側、前半右側の方なんですけれども、こちら緑でっていうものは、加熱機は与えるなってますんで、これ、考え方としてですね。
0:15:16	平面図すると、一つの図なんですけど、実際これ、エリアの回数は違ってまして、例えば、入口側は1回でして、この赤色の加熱機を2回ですんで、現場の解体工事がですね。
0:15:32	建屋のエリアごとで解体してございますので、同じ例えば一つの配管に見えますけれども、1階から2階に跨っているようなものの1階は解体せずに、
0:15:46	2階のヒーターは解体するといったような、そういった場所、エリアによる切り分けも実はございます。それで、大抵説明できると思うんですけど、これは一番ベンチマーク試みてるじゃないですか。これ、上から下ですよ。
0:16:02	これ類似設計だとしたら、何でこれがおんなじ扱いされてなかったって説明いたします。そうですね。これは実際、主な基本的な考え方になってまして現実的なところでは、
0:16:14	ないんですけど、現場の状況を見てですねご解体の最初ですね工事契約がですねすべてけば工事は行うんですけども。
0:16:25	主に前半でどこに書いて、どこまで解体するかというところをですね切り分けたものでして、類似性からするとですね、同じような場所ではあるんですけども。
0:16:37	工事、我々の中のこの工事契約上の仕様で、この切り分けたものになりまして、その厳密性は確かにございませんが、IP系が除かれたってことは、
0:16:49	パーパ迷惑明確に、さっき言ったようなこと話してませんので説明しない。そうそうです。
0:16:58	そう。
0:17:07	説明。
0:17:13	なおさらちょっと電力さんと相談したらいいんじゃないですか。そう。
0:17:18	これなんか、なんちゅうか、チェック時間の話はちょっとお作法の話とか、その確認するなんてのかな。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:26	申請のやり方の話だから。
0:17:31	どういうロジックがいいのかとか、方がいいのかとか、
0:17:36	新作臨み方がいいのかとか、
0:17:39	ちょっとそれなんかブレーンストーミングして、いろんな人の、
0:17:45	規制対応を上げてる人たちへ向かって、ちょっとどう、どう申請したらいいのかっていうのをちょっと検討いただければと思いますけど、多分、会話ではその、
0:17:55	問題意識は伝えますけどバックするのは多分、もうちょっと時間があるはずなので、それまでに回答してもらえればいいと思います。ちょっと吐き出してない。
0:18:05	遠地の放置で着したところとかそういうふうな中では駄目なんですよ。
0:18:11	ですね準備の場合です。最初にですね、あの人第1期の確かにおっしゃる通り工事契約の範囲なんですけれども、そのをですね、現場の状況で、もちろんクラスの申請対象でないところも、
0:18:26	ちょっと工事の施工が変わってございまして、最初の契約の、
0:18:31	伴ちゃん中でして、今の工事の中では、ほとんど追加されてますただCクラス対象ではない。
0:18:38	ていうものもありますので、当初の工事契約としては、示すことができるか、規制庁サカイする計画というよりはもうバックとして、何年何月から何年でますので、ちゃんと水管理ができてれば、
0:18:56	こういうふうに変えちゃえばできるならば、時期と時期か場所か、表現がに関し、示すわけですよ。
0:19:05	なんかも出します。
0:19:09	難しい。
0:19:12	大井です。もちろん最終的解体した後にはですね、その解体タイプ改定する前には、その気合いを現場で付番したりですね、解体したことが、もちろん記録に残ります。
0:19:25	そういった意味合いでは確認はできるものだと考えておまして、ただ、今はすべて、この、例えば、前回申請対象としたものが、解体されてるかというのと、まだ解体されてないものも、
0:19:38	ございまして、現時点の記録としては、解体したところのPIDは解体したものと、前にとってのは、対応することはできてきます。
0:19:54	比嘉さっきの話だと数千くらいあるんでしたっけ。
0:19:58	うん万小高湾だとするとですよ。ただ、一番だとすると、1ページのこの持田とこれ大体60個くらい入るんですかね。はい。
0:20:09	60だから

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:13	100 ページぐらい増えるぐらいの話なんじゃないですかその汗をリストはですね、このものだけのものは見えると思った。いや、そうです。なんでその例えば、
0:20:27	愚直にやろうとすると、何が申請対象なのかって聞き番号で管理していて、対象物が 1 万であると。それを明記せいで話になったとすると、機器のこれ一表に落とせんたのは、60 戸だとして、
0:20:44	60 ある 1 万だから、その添付 20 ページぐらい付録でつければ。
0:20:51	いう話ですかね。その 1 ページになんか 100 万個なんか載っけたら、
0:20:59	それでも 100 ページかとか何かそういう。
0:21:03	パツプ直に出してます。そんなときに、やらかしちゃうのが数字間違っちゃってましたとかいう話になって、委員会本にすみません添付の数字間違ってたんで見た話になると、
0:21:15	大変だとか、何かそういう。
0:21:18	デメリットが出てくるとかですね。
0:21:20	そういう形で、
0:21:22	全員がPRITの中でこんだけぐちゃぐちゃってことは難しいと思いますよ。そのリスト化っていうのは、検査官の人を責めず皆確認すると、多分そういう仕事じゃないですか。止まっちゃうんで。従ってその
0:21:39	切り分けとして、方針だけやっていて、
0:21:45	実際の、
0:21:46	この方針だけやりますので、誰がどう確認してどうすんのかってプロセッサに変えて、でもそれが間違っちゃいましたっていう話になると、それはもう受電力さんのQMSの問題で消えたの。
0:22:01	電力側が虚偽申請だったっていう話にして損なんですかねその。
0:22:07	藤俊こっち側の訴訟にせな書き切る柿木って確認し切って検査分を確認する。
0:22:14	店長率もあるんだけど、
0:22:18	これが合ってるかってないのかっていうのはもう、もう電力が申請者側でしっかりやります。なぜどうというプロセスであるのかっていうのだけ、QMSも、もう身近になったみたいな、加賀宣言して、
0:22:33	あそこは先はちゃんとやるうちはその、
0:22:35	どう、どういう手続きでやるのかってプロセスだけを確認して、じゃあ、あとはしっかり正しいものとして、
0:22:43	受けとめてやるっていうやり方は何とかなるんです。
0:22:47	全部番号会社と 100 ページとか 200 ページ添付 2 が増えて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:52	あまりなんか付加価値もない情報がこの2ページから生前だけこれ一体になったみたいなの。
0:22:58	確認したのはですね、全員でそんな順番通りに行くわけじゃないっていうのがわかってましたから、やっぱりその大南神田の機能を解体契約でやったものとか、
0:23:10	そういうレベルでやって、それが、少なくともどっかとか、とりあえずしてると。
0:23:16	いうふうなことでは書けるないかっていう戦略って書くしかないんじゃないですかね。
0:23:21	相当機器リストをつけるっていうのは、かなり非現実的な気がしてですね、ベースデータもあったそうです。
0:23:32	一番のお互いにとってそう思う。今回確認したいという名前も話があったんですよ。前回、認可しちゃうぞ、今回認可したものを、やり方。
0:23:43	やり方って評価の仕方も違うもんだからその、
0:23:46	前回認可した物を誤って今回認可したものとして、
0:23:51	確認申請出しちゃってそれ選んだわけですよ。何かそこをちゃんと、
0:23:57	切り分けるっていうんですかね。
0:24:00	確認できれば、
0:24:04	中電の河合です。ありがとうございます。まず他の規制との関係も踏まえて、土井がいいかというのは、確認します。我々もですね、単純にこのPIDのリストを載せるのがいいとは思ってございませんので、そこは考え方を整理してですんで、
0:24:24	特におっしゃっていただいたように、例えば前、今回の前回のとして申請し、確認申請してしまうと思います。そういうエラーが一番でありませんで、我々の中も、その管理事項としてですね、その機器IDで管理していることと、それは前回のものと今回のものを、
0:24:42	しっかり確認してですね、測定器に入ると、そういうところまではですね、時間認可申請書のほうに記載したいなどは考えそうです。
0:24:53	育成事業ですけど、
0:24:56	最後管理台帳があるはずで、そこへ、
0:25:00	たどれるトレースできるところまで明文化しといていただくのは必要なと思います。
0:25:08	ぜひですね、廃止しました三本のデータベースがございますので、足場戻ります。
0:25:19	この件は以上にして、
0:25:24	ちょっと前回途中で終わっちゃいましたんで、何か確認したいことがあれば順次、
0:25:35	わかります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:37	Cのところですね。あと 60 だけで見てるじゃないですか。はい。多分今はいいんですけど。
0:25:45	30 何年後、
0:25:47	は 60 で 90%切っちゃいますよね。
0:25:51	やはり、
0:25:52	いうことは、その時で切って、
0:25:56	検出下限値は、
0:25:58	1.645CIGMAでも、現状はOKだっとなってるけど、35 年度、
0:26:04	1 で考えると、他の各種乗場Cが出てきて、
0:26:09	コンマ 99 幾らになりませんか。
0:26:13	新開ですまず、ご指摘があり、ありがとうございます。今現在コバルト 60、評価対象箇所三つある中で、コバルト放射線背計測を行う。このコバルト 60 でこちらの、
0:26:26	現時点では 90%以上のものにして、そちらで、強制冷却を超えないような考え方で検出限界値を設定してるものにして、現時点でありますと、
0:26:39	他の核種を入れても、当然 1 は下回るんですけども、おっしゃっていただいたのは建設してきて、やっぱりワールド 60 が強度が下がった時にですね、他の博士の大戸比べて、
0:26:55	評価対象学士グリッパCとして 1 になるか身近になるかというご質問だと思いますので、少しちょっと確認させていただいて、そこの方には、ぜひお願いしたいと思います。今、測定値は、
0:27:08	プラス 1.6 っていう方針は入れてますけど、計算値についても、警察官 1 人、1.645 人追加してもですね。
0:27:19	十分、苦小牧付近から困るくらいだと思うんですけども、それはわかる、わかるんです。だから、最終段階で、それを守り切れるのかなというのはちょっと。
0:27:30	不安になりました。わかりました。ありがとうございます。
0:27:35	なんですけど、サーベイメーターでですね、コンマ 8 ベクレルスケールで決める、いわゆるケース帰ってきてるじゃないですか。はい。検出下限値でやると。
0:27:49	こまち急騰が多分可能。
0:27:53	可能性としてあるように思っちゃうんですよ。はい。ですから、今のやり方で、この町井を、
0:28:00	確実に下回る測定値になってるということを、多分前回も聞いたような気がするんですけど、何か示していただくと、安心かなと。
0:28:10	ジェネリックのカワイです。わかりました基本要請水の方の、検出限界ちいをいくつか条件とですね、建築限界といくつか記載してさせていただいて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:22	0.8 を当然下回ってますので、そこを記載させていただきたいと思います。
0:28:29	もし前回の審査の方でも前回、認可申請書の中の審査でもありましたが、実際表面汚染密度ですね、0.8 相当なものを、
0:28:41	線源としてですね、現場で定量したものを、実際ブラインド試験でサーベイをしてですね、0.8 を確認できるということは、確認してございますので、
0:28:54	実際そこからですね、考え方が変わったものではございませんので、そこは記載したいと思います。神崎ですけど。ですから
0:29:04	認可申請の、検出下限値をこの 8 にしてるじゃないですか。だからちょっとね、表現を工夫していただきたいと思ってます。
0:29:14	前さんを廃止しました。
0:29:18	大沢 2030 何年だったら要はその
0:29:21	クリアランス確認clearず認可申請をして、確認の時期、クリアランスする時期っていうのはその廃措置計画の期間全体とって、
0:29:33	仮に解体がうまくいかなかったとして、或いは解体のスケジュール感が見て、2037 年ぐらいに出してもいいような形で多分引っ張ったと思うので、従ってその
0:29:46	今、申請すると 2037 年時に申請した時とで、ちゃんと条件がエラーが起きないかって言うのをちゃんと確認したいということです。はい。
0:29:58	それは前回の時。
0:30:02	前回の時も 2037 年に出してもいいよって話になっていて、なってないんですよ。です日付まで少しあの人どうですか。2037 年、6 年度が解体の終了になりますので、
0:30:20	そこまでは、前回も入れてございます。前回、今の認可申請時あんまりそこを議論してなかつ地裁なかつたんすつけ。
0:30:30	前回ノーマン日立が全規則が変わっちゃったからってことですか。
0:30:35	ていうか、
0:30:37	そこまで議論した伊奈アセッサー、現時点のところで、今後言えば大丈夫かなと思っただんですけど。いや、改めて、準備ですね、何十年もじゃないですか。だから、
0:30:50	主盤で言い回しコバルトでやってるから駄目なんであって、評価対象核種の CIGMA リバー C で、
0:30:57	木場湖っていうのは何となくわかるようにするんですけど、生まれてる限り限定しちゃうとちょっとまずいんじゃないかなと。
0:31:05	知念猪原です承知しました。特に 2037 年の 4 月 1 日までが一番最後になりますので、その期間での、3 択種の割合を踏まえて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:19	全体で、シマに足が1以下になるような、厳選開発ということで、廃止をしましたので、少し確認します。前は10核種になったんですね。
0:31:32	えっとですね、プラスなんぼかもしれないですね。評価対象学習はそうでありまして、実際、放射線係数をしているものはコバルト60だけになりますので、
0:31:44	その検出限界値としては、コバルト60の点線が1という形になってます。多分、いや、
0:31:52	そうですね。いや、前回と今回とで、
0:31:56	ちょっと各紙も変わったんで改めて確認しましたっていう議論すればいいかなと。
0:32:07	蜂谷。
0:32:08	なんだけどちょっとそこは申請書上でも明確化して参りたいということです。
0:32:16	ちょっと確認してもらいます。
0:32:24	前は水落さん、全開連町は、申請書に二つに確かに、
0:32:30	会合とかで、実際の設計したデータのばらつきが少ないとかそういうことをお示しいただいて、それは確かそうです。管理されてるねっていう話もあったんで、
0:32:42	はい。
0:32:44	その辺の話を、ご説明していただきますよね。そうですね。はい。
0:32:51	副所長の沖ですけど、本当に注意いただきたいのは、メーカーについては、前の申請の時に、関連のものを全部測ってみては、全部じゃないけど上がってきて、
0:33:03	でもその中で大きなのは、最大で0.8だったという話で、多分載ってたんだと思います。
0:33:10	知久井口がカワイです実際ですね現場の測定、バックグラウンドだったりですね、操作速度だったり、そういう条件を、に従ってですね、検出限界値を設定して、0.8未満は十分確認できると。
0:33:26	ということになってますので、安心にしたものでして、条件が変わりもこっちも変わるんですけども今回の対象については、0.8メガ確認できるような測定条件で、今日三野先生を測定すると。
0:33:39	今回も、
0:33:41	僕は違う眼前変わるけども、同じ値が使えるようにするという話はわかりました。ありがとう。カワサキですけど確認なんですけど、物品搬出は、
0:33:52	幾らでやられてるんです。ですね、チームリーダーの川合です。現在は、2.0だと思えます。磯高井です。はい。
0:34:06	多分、2点ということだから、大町くらいでやっておけば十分クリアすると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:12	今、考え方が違うんです。中部営業部発フリーランス様とですね、物品半数が同じ表現する測定なんですけれども、所測定条件が異なってまして、クリアんと、普通の分泌半数、08 未満を確認するものと、
0:34:30	未満を確認する条件は全然違う、違います。操作フローが違う。
0:34:46	ありますか。行政の規制庁柚木ですけど表面汚染出たので少し米汚染の話をお伺いしたんですけど。
0:34:53	ちょっと細かい話でありますけど、
0:34:56	長さん、相談のスキャンで測定する時の、検出限界の話とか、あんまり書かれてなかったようなんですけども、その考え方もある意味で示していただけることになるのかそれともう常識の範囲でいくと。
0:35:09	なってるのかをちょっと知りたいのと、あと、もう、すぐ気が付くことで、デコボコなったらどうなってますかとか、
0:35:16	あんまり、すごく基本的なことを少し端折られてるところがあったので、そこをちょっと外さないようにしていただきたいなど。
0:35:28	思います。
0:35:30	上にも全然関係ないんですけど、ずっと 404 なんか齷齪されてましたけど、今 4-0 じゃなくて、4-0123 ってわかりますんで、そこはちょっと確認してください。
0:35:41	これ 4 回ですまずありがとうございます。事実の確認、再確認させていただきます。また操作速度については添付の 6 のですね、測定条件の方に、
0:35:54	総則の話と、0.8 を確認するための条件を書かせていただいていますので、そこに先ほどコメントがあったように、0.8 未満、0.8 が検出限界値と見えるような記載を少し改めさせていただいて、
0:36:10	技術限界値を今記載するというような、そういったところで、提案させていただきたいと思います。はい。お願いします。でこぼこになってる場合も考慮しなくちゃいけないと思います。よろしくお願いします。
0:36:23	まず先ほど十河の件すいませんについては表面のですね、人家の窓面積から、波になるようにというような管理はございますので、
0:36:36	そういったところはですね、少し記載したいと思います。はい。
0:36:44	ちょっと違う。申し訳ない。
0:36:46	一応、なんちゅうか指摘のやつ表とかもちょっと管理して欲しいので誰か目持ったりを取ったりします。大丈夫すかね。
0:36:57	OCFO規制庁の仲宗根ですけども、添付書類の 2 のところで、二次的な汚染の影響を代表するサンプルを選定するってお話があるんですけども。
0:37:08	その中用量割合の中に選定されてるということで、その重量割合が適切である、エビデンスというか、根拠みたいなのも記述していただいた方が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:19	よりそのサンプル選定の、明確な理由に、を指名することができるのかなというふうに思いました。わかりますありがとうございます。まずですね、
0:37:31	系統ごとの授業ってのは、先ほど話と少し重複しますけれども、一つずつの聞き合いに対して、重量を設定してございますので、その中で系統ごとに分別するとですね、何が上位かということを計算してございますので、
0:37:49	そういったものを、
0:37:51	系統の機器ITからですね、その系統別の重量を算出しているというような記載を追記すれば、よろしいというそういうコメントに四角でしょう。
0:38:04	とカワサキですけど、それについてなんですけど、重量で、サンプルを代表させて良いというところがわからなかったんです。
0:38:14	中部営業部の川井です。
0:38:17	まずですね、今回の対象物は、もちろん前回の対象物と違うわけですけども、系統は、かなりほとんど同じようなものでして。
0:38:28	そういったところもあってですね、どこのサンプルを系統代表するかというところで、我々からすると、いずれ汚染系統であれば、どこでも問題ないとは考えているんですけども。
0:38:41	その中でも、その全体の中で占める系統の割合が大きいところから、サンプルを取ってですね、代表した方が、全体的なその対象物なんか包含できるんじゃないかと。
0:38:56	そういう考え方もあってですね、対象とした文字で、ただし実際は、一次系統であれば、そういうようなですね、どこを取っても、
0:39:06	我々同じような組織だというふうな考えで、設定してるものですから、その中でもですね検証用で、いくつか、今回ですと1号、339253 サンプル取らしていただきましたけれども、
0:39:19	発生する、一つの考え方として、そういう系統の別の重量っていうのは、一応参考になるんじゃないかと、ランダムで取るというよりかは、一つ、系統ごとの重量がヨシ目とか大きいものから取った方が、
0:39:33	何かが予算フレームとときにはいいんじゃないかと、そういう考えです。
0:39:39	ですから、カワサキですけど、どこだって同じですっていうところなんですよね。
0:39:47	それで事業を評価基準にしましたということなので、それはわかるんですよ。だからそういうことを記載して欲しいということなんです。
0:39:56	はい。
0:39:57	あっちベルフェイス廃止しました。
0:40:00	今、重量割合って何なんでしたっけ。注意やっぱりその全体の対象物の中の、系統の重量を出してまして、その中で系統のランキングを1、2歳でその中の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:14	上位占めるものからとった、確認のためには取った方がいいのではないかと、ランダムに本当に構成がないようなところを選んでしまうよりかは、うん。本当の線の系統の中で、さらにその全体の中で重量が多いような系統から、
0:40:29	取るのはいいいんじゃないだろうかと、そういう考えです。
0:40:34	ただしもともとの考えとしては、前回いろんな系統を踏まえて、分析データをとって統計で処理したデータですので、基本的にはどこの、その値を採用できると思うように思ってます。
0:40:48	その中でもある種の確認のために、今回取ったものですから、そのあたりの記載が少し足りてなかったのかなというふうに思います。
0:41:09	でしょうか。
0:41:11	江藤。
0:41:13	ちょっとわからなくて、規制庁の川崎です。バックグラウンドの測定をしてるじゃないですか。
0:41:19	ちょっとね、あの表だけだと、何か何を言いたいのがちょっとわからないんですよ。それで、何かもう少し、これで妥当なんですかというところを、
0:41:29	説明資料として、計画じゃなくてもいいですけど、出していただければなと思いました。要するに、バックグラウンドいつ測るのって測定、測定はいつやるんですかっていうところは、次系列で見えないですよねあれじゃない。
0:41:45	ちょっとそこを、
0:41:47	何かわかるように、この程度ですけど、これで妥当なんですかという、いうことを示していただきたいなと思いました。で、逆に言うんですけど、DGをそんなに厳しすぎるんですかというところがあって、
0:42:00	DGゼロでもいいんじゃないのっていうのは、ちょっと頭にあるんですけど、PDを0にしてしまうと、駄目な場合が出てくるということなんですよ。要するにそういうところで図っていくという、
0:42:12	ことなんでしょうかという、中部電力の河合ですまず、最後のご質問の方ですけども、
0:42:19	B組人といいますか、実際の対象物からでないところからコバルト 60 があるようなところも実際ございますんで、そういったこともありまして、バックグラフィックビジョン引かないと、測定評価に影響があると。
0:42:34	いうようなところもありますので、我々はその引くという行為としては、申請に記載したいと考えてございます。ただ今実際運用してるところはですね測定エリアというところで、申請上ですね、2ヶ所を書かせていただいています、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:50	一つの箇所は影響があるんですけど、もう一つの箇所は、実際提供はございませんので、そういったところに関してはですね先ほどコメントいただいたような、正直引かない方がですね、評価値としてはもちろん中身になるのが自明ですので、
0:43:07	控え方が、我々も測定の手間もないものですから、そういうふうな運用にしたいというふうに考えてございまして、前回の申請書ですと、
0:43:18	必ず測定の測定本当の工場独自の測定の前後で必ず測定することになってございまして、そうですね。はい。そういうところが、現実的にはちょっと低き効率なところがある。それは聞く。
0:43:33	コバルト 60 のばくしないような場所であれば、こういう非常に非効率係数でそういったこともあってですね、これ原子炉規制検査のチーム検査でももう少し話題になった話であるんですけども。
0:43:48	測定しないというような方法もあるんじゃないかと。ただしそれは当然最初に測って、爆燃分の影響がないと分かった後であれば、そのあとに本当に効く引かないかは、測定評価上であれば、
0:44:02	仮にあったとしても、評価中の中身になるので、そこは妥当じゃない、妥当といえますか、安全側の条件になるんじゃないかということもありますので、
0:44:13	今回の申請書にしたものですけども少し確かにいつ計るんだっていうのと、すごいフローみたいなものを本当はお出した方が、いいかなって今の発言を受けまして、まず最初に、
0:44:26	測定を、そのエリアに本当にコバルト 60 があるのかどうかっていう測定をしますもので、そのなければ、そのあとず
0:44:35	引かないフローになりましてそのあとあるってなれば、その測定の前後で必ず測定するようなフローになりますんで、そうなんですけどそういうようなものが、言葉、
0:44:49	でしか記載がなく少しわかりにくいかなというご指摘だと思いましたので、少し説明資料ですね、フローにフロー図になるようなイメージですけども。
0:45:01	そういうものを少しお示した方がいいのかなと思いました。
0:45:18	すいません、河崎ですけど、前回と場所違うんですよ。前回と場所は、あっちにかかる場所が違うところも考えて、
0:45:30	さらにすいません前回も候補地としておりまして、今回も高知としますんで、それはなぜかっていうのはまず 2037. まであってですね。
0:45:42	解体のタイミングで、測定場所は必ず今の場所かっていうのが、
0:45:49	正直ですね違う可能性もございまして、であれば測定エリアとして要求されるものは何かというところで区域だった汚染の恐れのない管理区域だったりですね、異物混入がないような、立ち入りの確認ができるような、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:04	エリアというところで書かせていただいて、実際今現状では、二つの場所しか考えてございません。一つは、びっくり時があるようなところとないところで、今ほとんどないところでやってございます。
0:46:24	すいません。完璧ですけど河内っていうのは、ここに書かれるんですね。
0:46:29	申請書上、はい。それ以外のところでわからないということになっちゃうんですか。
0:46:35	明文化です要求としてはですね、医師会へ測定が求められるエリアとしては、そういう要求はあると思うんですけどもあまり候補地だと思っておりますので。
0:46:47	変わる可能性はあるというふうな。
0:46:50	意味合いで書かせていただきます。
0:46:54	破損モードつきりやあ。
0:46:58	んなって、今後申請のやり方なんてクリアカットに、どこでやるっていうところまでお約束するのか、その敗訴地形、廃止措置が進むっていうところをかんがみてある。
0:47:10	所定のエリアで変わる敷地の範囲内で変わるっていうようなこと。
0:47:16	申請するのかそれちよいさんだと思うんですけど、ある所定のところでやるっていうことであれば、その所定のところの線量の状態はどうなのかって確認しますけども。
0:47:26	場所が変わるっていうことであれば、留意すべき点として、バックグラウンド話とかもあるんでそれはどうするつもりなのかとか、やっぱそういうのを書いてちゃんとその、
0:47:37	非安全側にならないようにするにはどうするのかっていう。
0:47:41	交通なんで、候補地なのであれば候補地であるのは構わないんですけど。
0:47:46	であるとするんだったら何を、そのお約束事項として、
0:47:52	各場っていう、
0:47:54	もうちゃんと性整理をされてると思うんですけど。はい。
0:47:59	澤井ですけど、全部切って、場所だけで申請されたその同じように入り、動かす予定って話で、支援。
0:48:08	返す鉱物という形で、サンプル数提示をしています。そうですね。個別の箇所に行ける説明を橋爪が受けたように、確か。
0:48:21	次の報告書がいらっしやいます。
0:48:35	規制庁の河瀬、先ほど品質管理って出てきたんですけど、今回の測定方法でいくと、検出下限値はどういう形で、
0:48:47	選定されています。一番効率の、技術効率の低いところ。
0:48:53	を想定したケース会議っていうことなんでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:57	こっちでないです。池間の方で先ほど表面を精密。いや、阿比留安藤です。上げる側の方については、検出限界値というのはですね、公立ってのは毎回の測定を行ってまして、
0:49:12	基本的にはですね、検出限界値は計数率等、換算係数とあと実際の重量で求めています、計数率ってのは実際の測定結果、
0:49:23	をもとに使っておりますので、その際の効率が反映されたものだと、事前に何か効率を設定して、そこに入れてるっていうものは、唯一ありますのは、
0:49:34	確度依存の効率だけですんで、その角度依存の効率については換算係数で反映してございますが、事前の線源試験の結果を踏まえて、
0:49:45	2 σ 、アンゼンガワニ見ると、というようなものを設定してございまして、日比野
0:49:53	商売点検の方で、ゲルマの保険席の確認を、制限を使ってやっております、それは予定の感度以内にあることを確認した上で、
0:50:03	完全計算するのは、使っておりますその経営企画チーム効率の角度依存の効率は使っています。
0:50:10	確認なんですけど。
0:50:13	測定方法でいきますと、
0:50:15	対象物の一番検出効率の低いところから、最大放射能内を埋めていくわけじゃないですか。それと、今の関係はどうなんですかね。チームで返すやって対象物の。
0:50:29	検出下限値ですよ、対象物の。
0:50:33	検出下限値を求めているわけじゃないですか。
0:50:37	それとも金田伊井はどうなんでしょう。
0:50:40	渋谷河津まずですね、検出限界値のベクレルパーグラムの話ですので、計数率と、放射の当社の換算係数と、まず重量で、求めているものですよ。計数率
0:50:55	実際の測定で求まるものでして、効率っていうのは換算係数側の方で見まして、換算係数の中に、もちろん遠いところから埋めていくような形の中ですけれども。
0:51:08	一番遠い、例えばどういうところの一つの障壁の中で、応答関数を求めているんですけどもその応答関数を求める際に、角度依存、或いは現場との位置関係によって、どれぐらいの確度夏かによって、
0:51:24	法律が出てきますので、その応答関数を求める際に、譴責の効率がそこに早く反映されます。
0:51:32	ですから、対象物にね。
0:51:36	現場で上がったときのいわゆる限界の計数率があるわけじゃないですか。はい。建設委員会計数率、それに対応するのは検出限界放射能ですよ。はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:47	検出限界計数率に達するまで、検出感度の小さいところから受けてきますよね。
0:51:56	ですから、その一番埋めたところが、
0:51:59	検出限界計数率になるように設定した値という理解でいいですか。
0:52:06	中電の中出さんその通りです換算係数というのは一つの値といいますか、計数率とベクレルの対応表のようなものでして、それを実際の検出限界計数率、
0:52:17	この値を上回るまで、同じく上がるまでのところを、の放射エネルギーを呼びますので、ある種検出限界ケースについて対応するような、計算値状の、
0:52:29	奨励金のところからですね、放射エネルギーを見て、それで計算値状の計数が出ますので、その計数率を積算していったら、検出限界係数は0まで。
0:52:41	その時の防止の業務ということでそういうことで、
0:52:52	ですから検出限界放射能、多分、前さん見てなかったのかもしれないんですが、検出限界係数一通の建設委員会を佐渡式があるじゃないですか。
0:53:03	あその品質が、当社の関係す。
0:53:08	ていうのは、多分、一律に決まらんんじゃないかなと。書き方はちょっと違うんじゃないかなって感じがしました。
0:53:20	主盤で、
0:53:22	評価って、一番最低の放射能で埋めてった時の値なわけじゃないですか。だからそっち耐えれば、放射能換算係数という形では元ないですよ。新城。
0:53:37	10年からです一つ団体には、定まらないってそういう対応表、関数というか対応表になりますので。
0:53:45	何か聞かたについては少し工夫させていただきたいと思います。
0:53:50	今の検出限界値の計数率の数が算出式のところのコメントでよろしいですか。その算出のところのコメントでもう一つ、鶴巻が言ってましたよね。はい。
0:54:04	普通は、いわゆる保守的な値だから0にしましたと、ということなんですけど。
0:54:10	先ほど言いましたけど、さんざん [REDACTED] を見てますってことをされてるじゃないですか。自身は見てるってことは、苦痛に反映されていくような気がするんですよ。
0:54:24	裁判長取りますって言うと、多分RⅡは切ると思うんですけど。
0:54:29	多分書き方が何かわからないんですけど、ちょっと違うかなと。ちょっと民心マウントてるってことは、新版があるということじゃないですか。
0:54:40	親和のためには、シグマを消すためには最大値取らないと、ある程度ゼロにならないんじゃないのっていうのは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:50	単純に思いました。中部営業部の河井です前回のヒアリングでもですね、少し説明が足りてなかったところあるかなと思ってまして、表示不確かさの、特に剛性標準偏差が、
0:55:03	JAEAさんからコメントいただいたような気がするんですけども、少し説明が足りてなかったなと思ったのはですね、不確かさを考慮するんですけども、不確かさがあるものとしてですね、それぞれ伝播させていってるわけではなくてですね、それぞれ、
0:55:20	設定値として、保守的に設定することによって、それはある一つの設定値になって、その値というのは、何か不確かさを持つてるものではないというふうに、扱ってございます。
0:55:33	従って、それぞれパラメータ複数Appとしても、鷲尾最大中枢とってるものもあれば、先ほど話の件数、 XXXXXXXXXX アンゼンガワニ見た値に設定してますので、
0:55:45	その設定値には不確かさがありませんものとしてます。これ安全側に、やはり保守的に設定したのだからということです。従ってその標準偏差が、
0:55:55	ある、あるんですけども、そのあるものを安全に設定したことによって、それ以上、不確かさ見ないという言い方だと思うんですけども、その言い方が確かに新設上だと。
0:56:08	不確かさがあるというような流れの方も行ってしまってるので、今川崎さんにいただいたような、換算係数をして設定してるというのは、しそそれを構成するパラメータを、
0:56:20	保守的に設定して、それ以上を不確かさないものとしているものを使っているので、換算係数を保守的に設定している。従って、不確かさは、もうそれ以上考慮し、しませんので、
0:56:32	率っていうのはゼロだっていうところが、少しこう、確かにわかりにくいかなと思いましたが、あるIIがもう0だとはちょっと思っていますが、ちょっと説明が足りてないのは、そういうところかなと思ってます。
0:56:48	河崎ですけど、ちょっといいです。ちょっとね。
0:56:57	ちょっと先磯野。
0:56:59	正免として前回の認可申請の申請書の書きは、片方改善するのは上からなので、それはもうやってもらえればいいと思いますんで。
0:57:11	ちょっと留意してもらいたいのはその何ていうかその公差の換算係数の書き方実態として、同じなんだけど、より明確に、
0:57:22	書き換えるってそれありなんですけど、ちょっと何ていうかな。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:26	少し工夫してもらったほうがいいと思うんですけど、前回のと今回の書き方が違うと、何かやり方変わったのかっていう話になるから。
0:57:37	例えばその、全通、前回のギブンとして今回書きかえるんだったら何か米印か何かつけてそっちの例だと、先行事例であった放射の換算係数の何とか何とかを何とか鶴田明確化。
0:57:52	したものと名前イメージを変えちゃうとか、なんちゅうか、多分、
0:57:56	前回と今回の書き方というのはいいんですけど変えたときに、全く
0:58:02	内容として変わったのか変わってないのかっていう。
0:58:06	のをちゃんと申請書上も明確化したほうがいいとかその、このヒアリング資料とかまとめ資料とか、昆やりとりで、
0:58:14	わかるっていうのはそれはそれでいいんですけど申請書上の
0:58:20	後で多分の申請書なんで前回と今回で、
0:58:24	実態として変わったものは変わった上に書けばいいし、前回の申請等、今回の申請内容としては変わらないんだけど、
0:58:33	やっぱり議論の過程で明確化した方がいいよねっていう話があったんだったら、それ書くのも構わないんですけど。
0:58:40	んなんですかねその単に。
0:58:42	実態として変わらないんだけど、明確化したものなのであるということであればちゃんと申請書、
0:58:48	復唱してわかるようにして、
0:58:50	先行事例となったっていうのを、何か書き下したものと、
0:58:54	何か総称してもらいたいんですけど、伝わってますか。藤沼相澤もちろんわかってございます例えば放射能換算係数の設定の方法っていうのは、前回の先行事例と変わらないっていうのは、今回記載させていただいてるんですけども。
0:59:08	その中で、より明確化コメントいただいて、こちらの方がいいだろうというようなところは、そこも併記しながら、それぞれどこがどう変わったかといいますか。
0:59:21	どれが補足施設を作って具体化する説明なのか、或いは先ほどいただいたようなスタンス評価対象すべてで、2%に近いだろうっていうのは、それ前回と違うところなので、
0:59:35	それは前回と同じとはなかなか書けませんので、そこはコメントいただいて、より現実的なといいますか、審査基準に合ったような記載ということで、
0:59:47	変わるところも当然ありますので、そこはある種、いずれは補正案ベースでご相談させていただいたりとかですね、そういうところを書き加えていくときには、ご相談しながらやりたいと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:04	今の関連するんですけど、
1:00:06	今、今回校舎感染は最初から言いませんと書いてあるんですけど、審査基準上は、二次的な汚染と放射能性を比べて、
1:00:18	マース輸送量でね。
1:00:22	主伐ばC1ということなんです。ですから前回は多分それーは多分書かれたと思うんですね。入れたとしても、全然問題ありませんと。
1:00:32	今回も最初に売っちゃってるんで、何か一言を審査基準に合うような記載が欲しいかなと思いましたね。中部電力の甲斐です。
1:00:43	最終的な補償の決定のところで、それより前段では二次的な汚染の評価対象核種のみを選んでいますが、そのあとの結果として、この放射化汚染の
1:00:56	程度からすると、不安視できませんので影響がないという記載をしているんですけども、具体、より具体的に記載、何か概要のところで、前回は入れても問題ありませんでした。今回は、
1:01:15	評価しませんっていう書き方になってるじゃないですか。
1:01:18	あえてということは違いますよね。書き方として違うんですよ。
1:01:24	中部電力の川合です前回とももちろん今回は、違ってまして前回黄色で見えますけれども、今回は見てませんので、そのの、
1:01:34	違うモデルでも前回もほとんど影響ないんですよ。
1:01:39	米津放射線の程度は、前回も今回も同じですよ。
1:01:43	同じです。小栗通り減衰してるんですか。
1:01:47	なので、前回は最終的に加えたとしても問題ないという書き方だったと思うんですよ。今回の概要の説明だと、今回は考慮してません。
1:01:59	という書き方になってたと思うんですね。
1:02:02	ちょっと。
1:02:04	表現の仕方が違うんじゃないかなと。
1:02:09	比較表がありましたよね。はい。その記載がちょっと違うんじゃない。今回も同じなんですよ。
1:02:18	ちょっと前回は前回、今認可いただいているものは、放射光性の評価対象核種ガス当然ありましたので、影響がないという言い方ではなくてですね影響がないってのはもう、汚染の状況としては影響がないというような、わずかであるっていうのは、
1:02:36	過去もあったかもしれませんが実際の評価としては、わずかでありましてけれどもそれは値として入ってますので、入っても問題ないというような言い方までは、前回は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:48	ないといえますか、貯槽等入れているものですので、
1:02:52	あれって評価してますってことですよ。全体はそうです。はい。今回は入れてませんじゃないそうです。
1:03:00	ちょっと違うんじゃない。何か審査基準に合わない気すんですよ。
1:03:05	電力の川井です。
1:03:08	審査基準ですと例えば、放射化汚染については、例えば管理区域外のようなところでは明確に放射線がないようなものであればっていうのはあるんですけども。
1:03:19	今回、確かに直接的にはそこな該当するものではありませんが、測定した結果で、その 100 分の 1 にはであったと、いうその程度を確認した上で、それであれば、
1:03:31	影響がないということ自体は、直接審査基準に記載はないんですけども、それと準ずるレベルであるというのは、はそのように考えてございます。だから、前回と同じですよ。
1:03:47	評価対象核種はだって前回の、
1:03:51	変わらないんじゃないかって准教授課長入ってましたけど、
1:03:57	90%以上で見たら、
1:03:59	同じですよ。
1:04:00	コバルトが主体だよって配るとしたらいい。それがいい放射光線の場合はそれ以外はかなり低いのかな。そうですね。そうですよ。ということは小針で見たら同じなわけじゃないですか。
1:04:12	汚染の程度としては同じですよ。はい。
1:04:16	だから、高射幸性の考え方も、少量として見たら、二次的な汚染から比べて乳児ですっていう。はい。
1:04:26	書き方にしないと、それを入れたとしても問題ないという書き方にしないと。
1:04:32	審査基準がないようにするんですよ。
1:04:36	目黒カワイです放射光性を言っているという基準がないので、
1:04:45	を見る意味だと思う。
1:04:47	ちょっと今仕掛けかり品の中国電力が見てもらった方がいいかもしれないんですけど要は、
1:04:52	結論は放射化汚染、最後は値切るですと、できるだけロジックとして、申請書、放射化汚染のことを書いて、二次的汚染のことは言って最後にあつがあつとして放射化汚染日赤、汚染の、
1:05:07	評価のことを書いた上で、評価放射化汚染はめぐっていいですよっていう、放射能汚染の症で日赤汚染の庄子して最後に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:18	対象物の汚染の形態での補正で追加してもらおうと言ってんですと。
1:05:25	で、結論をまとめて放射線はFAXを施行で下に植生のこうでしたって異常でまとめると、対象物の汚染形態は、実績汚染なんで放射化汚染の影響を無視できますっていう形で、ちょっとね、和歌山段階分けてるんですわ。
1:05:43	だから多分それは、前回も同じだと思うんですよ今動いてるものも、はい。入れたとしても、二次的な汚染で売られちゃうっていう書き方が多分なってると思うんですね。
1:05:55	企画書は多分そうなってるはずだよな。だから今回の、多分、書き方はそこ同じじゃないかなという気がしました。
1:06:06	いずれにしても今いただいたようなですね、放射光生命程度と、二次的な汚染の程度を書いた上でですね、その後、最終的な結論として、
1:06:16	放射化汚染の影響はわずかであって、影響を考慮する必要ないみたいなんのでできませんだけを今後やるというようなところを、今のお話ですと、つ店、本文で言うところと4といえますか、添付書類2のようなところで記載した方が、
1:06:33	いいということでしょう。9月今最新版だと9月1日の。
1:06:39	中国電力とのヒアリング資料の上資料と、1に、産物っていうのがあって、3ポツ3対象物汚染形態って赤文字のやつがあったんですけど、ちょっとその、
1:06:54	中国は中国電力と中部電力が申請の書きつぱりを、ちょっと違うからそっくりそのままできないと思うんですけど、一応今言ってることがわかると思います。
1:07:04	利用者を1000回転実績を前回で最後にまとめるとこうなんですっていう話になってるんで、ちょっとそこを見て、ちょっとどう、
1:07:15	どう書くのか、ちょっと検討したいと思います。
1:07:19	八名の向井です拝承しました。中国電力さんのヒアリング資料の方を作成して、同じような記載に合わせますと、中国電力はこれで補正を出してくるはずなんで、はい。
1:07:38	既設のカワサキで先ほど榛葉の話が出てきたんですけども、申請書の欄外にね、着中に、1.645σっていうのは、
1:07:51	傾向3という表記になってるんですけど、あれには間違いじゃないですか。
1:07:56	ですね建設委員会1の方は、K=3D、D、3cmといえますか、設定してるものですので、
1:08:06	この3D問題速力方針はのところに模型これ3って入ってませんでした。
1:08:13	すいません、確認してください。はい。加来委員。
1:08:20	はい、副社長稲見ですけど今の話は、添付資料6の2.2.3の(2)の脚注ですよな。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:30	CIGMAの何倍で書かれる時の形の値と方案係数の形とは意味が違うので、多分ごっちゃにされない方がいいと思います。他の確率幾つRISてるかっていうところに、
1:08:45	シェアされるので、そこは確認してください。地域の場合ですありがとうございます確認させてください。すいません。柚木ですけども、先ほどの、
1:08:56	ある意味イコールゼロっていう話にまた戻りたいんですけどその前にもう一つ戻って、測定エリアの話までちょっと戻りたいんですけども、本文の図の4には、候補として二つ出てますんでそこには汚染の恐れのない管理区域というふうな書き方をされているので、ここは綺麗なところなのかなと。
1:09:15	思っていたんですけども、外部放射線としての影響はあるんだと。だから、
1:09:21	Pub引くわけですよねっていう話になったときに、では、この測定時に対する要求事項ってのは、どう、どうなって、それがイトウせないっていうだけで決めたわけじゃないと思うんですけども。
1:09:34	その測定に対する要求事項を少しどっかに書いていただかないと、さっきのすごくPPの問題になっちゃうんじゃないかなと思います。それから、PEEKBGを考慮するときに、測定の前と後にバック測りますっていう話でしたけども。
1:09:49	それはそもそもバックがあんまり変動しないってのが前提ですよ。
1:09:55	だから、前と後は買ったんだから、それ以上短く環境できないんで僕精一杯ですっていうと、その前と後は買ってその変動がないことでもいいとするのはまた別の次元の話なんで。
1:10:11	外の周囲環境としてのバックグラウンドの変動がその通りであるということの裏付けを何かとっておいていただかないと、後でごちゃごちゃしたときに、面倒くさい話にならないようにと。
1:10:25	記していただけると、良いと思います。
1:10:29	それはよろしいでしょうか。はい。はい、ありがとうございます。汚染の恐れのないエリアということが要求ですんで、これは申請書にも書かせていただいております、特に外部放射線といいますか、実際その中に汚染がありますと。
1:10:47	その異物といいますか対象物自体に汚染が移ったりですね、米物購入追加汚染になってしまいますので、それを管理するために、実際その中の汚染というものはないようにしないといけないということで、
1:11:01	追加的な汚染の恐れのないエリアというのを設定してございます。そういう状況を記載してございます。で、もう一つご指摘いただいたちょっと一番最初にいただいたもの、1.645と3σの話ちょっと戻ってしまうんですけども、添付上の6-23の話ですこれ

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:21	宣言試験ですね、議題を設定して、我々の高放射能換算係数の設定が妥当かどうかということの、制限試験をしたものです。
1:11:32	我々の方、評価値としてはですね、実際測定したものに、1.645 シマを足すと、これが我々の評価上の評価値です。ただですね、線源とベクレルとYの評価値を比較するものですから、
1:11:49	これは第 1、一番最初認可をいただいた時の現地の試験の時に、アドバイスいただいたものですが、これは 1.65 シマ上振れさせて、
1:12:00	それは宣言あったよりも、ここを超えてることを思ってOKにしますので、その 1.6 を達すっていうのが、いいのかなどうか、要は宣言よりも上回ってることを確認するときに、
1:12:13	桑原させてるということは、それはいいのかなどうかという話をいただいたので、その時にですね、一般的にそのAマイナス 3 σ すると、1.6 円を足した上に、
1:12:25	線源の制限といいますか宣言と比較するために、保守的な設定として一そこからさらにマイナスする。
1:12:34	ただ実際マイナス 1. 何倍だというような、あくまで妥当性確認のISOの一つの間、基準といいますか、評価する考え方としてですね。
1:12:47	実際の正味ケース別に 1.65+というところまでが当社の評価値、これは実際その申請書に従う評価値であって、そこから妥当性確認も保守的にこう、
1:12:58	を確認するという意味合いで、そこから-3 新橋てる。
1:13:03	ということですので、今この記載で、我々そのように考えてございます。
1:13:12	1.6 円を足して、それから 3 引くんですか。はい。本来以外の評価値が 1 点の分を足すだけです。
1:13:21	この漢字評価するというよりはですね、線源の放射エネルギーよりも加わっていることをもって換算係数の妥当性確認を、
1:13:32	見えていますので、単純にその評価値に 1.6m 足せば、そういう方がおられるので、
1:13:39	普通に考えますと、自然減の分よりもこういう安くなるという言い方がいいのかわかりませんが、どちらかという高めな評価になるんですけど、その時に、安全側の評価としては本来、宣言のベクレルを、ここへ講演にくいといいますか、
1:13:55	宿命の評価の方が、本来換算決妥当性確認としては、いいだろうというところのコメントをいただいたので、実際の線源現地の試験の時には、実際ケース値に 1 点のボリュームを足したものが、中での評価値、
1:14:10	そこから、安全に確認するために、マイナス 3 チームをする。
1:14:18	というようなものを持ってそれで、放射エネルギーを評価して、
1:14:23	線源あたりの高いことを確認すると、そういう現地試験でしたので、それを採用させていただいてるというものです。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:40	すいません。はい。
1:14:45	今ない中で向井さんの当時の現地試験の時にはですね実際の評価値、換算係数が妥当であるかどうかというのを、
1:14:56	どのように確認するかということなんですけれども、線源試験で確認しました、線源試験で確認するときには、実際の測定値は実際の計数率になりますので、
1:15:09	それに不安全係数妥当性としてですね、まず、マイナス3σしてくださいと、計数率に対して、
1:15:18	そういうご要望でした。それはですね、我々とする、実際の測定値に低めな、マイナス3σしますのでかなり低めの値になるわけなんですけれども。
1:15:31	それに換算係数を用いて放射能を出すんですね、制限よりも、低くなるかどうかというところの確認ですが我々としては、実際の申請者の評価値というのは、
1:15:42	その1.6-3 芝することが、申請書の評価値ではなくてですね。
1:15:47	ケースであれば1.645シマ+というのが、当社の評価、申請上の評価値になるので、それと宣言ベクレルを比較させてくださいと。
1:15:58	いう話でした。ただし、それは当然高めに出るといいますか、実際の測定評価では安全側なんですけれども。
1:16:07	線源試験を用いた換算係数の妥当性試験としては、それは多分安全側の評価ではないんじゃないかというような、確かご意見だったと思います。そういうことを踏まえて、
1:16:19	計数率2-3σした値でも、それでも宣言のベクレルを超えるような、そういう安全側も、換算係数の設定になってるのかどうか。
1:16:29	いうお話をいただいて、現地の話。
1:16:41	ちょっとわかんなかったんで、ちょっと教えて欲しいんですけど、模擬線源を置きました。入って、ある程度測定結果計数率としては測定器かかっています。
1:16:53	その間には完全件数があって、じゃないや、計数率があって換算係数であって、放射能が求められて、それと元に入れた放射能を比較しますいうときに、換算係数が保守的っていうのは、ちっちゃい入ればいいから。
1:17:08	神崎係数。
1:17:10	いいじゃないその測定結果を、
1:17:13	マイナス3σをして、患者係数を掛けても、元にあった線源より値が大きくなるような患者ケースを考慮しましたと。
1:17:23	それは、大井政権の場合で、それももうそれで、
1:17:26	クリアランス評価をするときには、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:30	対象物があって、計数率がありました。それに、1.645 σ を加えてそれを評価しますと、
1:17:38	図、別々に聞くと話わかるんですけど。はい。ここでそれで一緒になってるのはなぜですか。
1:17:44	えーとですね、ここのあっちビルばかりです。ここはですね、まさに妥当性確認の話だからですね、実際の測定評価の話をしてるわけではなくて、
1:17:54	完全ケースの妥当性試験として、どのように建設地を扱うかというところを記載してるものですので、先ほど全社にお話されたような、放射能量、線源と、我々が評価した。
1:18:08	どちらが高いかという確認においては、このような、現実の扱いを食わせるのがいいだろうと言って炉心を出して、
1:18:18	三種を引くわけです。
1:18:20	多少なくて最初に引くだけじゃなくて、次、そうです。そこがわからない。
1:18:27	それは単純に目3 σ するというか、投資家の中この日申請中での評価値が、実際の測定評価の時は一定の弁護士が出すだけですから、それがあある種の評価値というか、当社申請書に従った評価値になるんですけど、そっからマイナス3 σ するだけという考え方です。
1:18:47	1.6も出して-3っていう、実際そうなんですけども、1.0445を足したものが我々の評価値なので、そっから-3 σ してるという。
1:18:59	計算上はもちろん、
1:19:01	2.65と-3になるわけですけども、その1.645まで含めたものが、当社の評価値。
1:19:08	ちょっとそういうことや、
1:19:17	いやさっき珍しいからわかりやすかったんですよ。はいそれ一緒になってるところで、
1:19:23	それだとそれを妥当性評価だと言われると、何で足すのってなっちゃうんですよ。さっき-アンシグマで、それでも超えるように考え、制定し、管材係数の妥当性確認しましたと。ただそれだけやればいいかなと思うんですけど。
1:19:39	ここで消化ちい文化入ってくる方から1.6450万達成された数字出てきて、
1:19:46	でもそれマイナスはしごしますと、
1:19:49	ちょっとその論理が、
1:19:51	昔それで、いや、わかりますよね。同じです一応現地試験の結果を活用してます今回。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:03	実施申請書には書かれてなかった。もちろんそのバーン当時は、申請書に書いて書いてございませんでして、実際現場できた。
1:20:14	試験の結果、
1:20:18	ちょっと要領書をいただいてまして、考え方としては、中電の評価値から3σ-
1:20:27	で、中での評価値っていうのは、もちろん件数であれば1.6を出すというのが当社の評価値なので、当社評価値地区参集も、
1:20:38	実際には表には、もちろん1.6円を足しますね-はします。なのでマイナス1. 何とかシマが、表として出てきています。
1:21:01	じゃあ小当り変えましょうか。すいません。ちょっと1個前の測定エリアの話なんですけど、ちょっと前回、
1:21:12	測定エリアここで決めてたんでしたっけ。決めて、前回の時です。候補地全体今回問題はわかりました。
1:21:34	前は測定量は決めさんだけど、
1:21:38	今回の測定エリア広告という形で、いろいろ変更があり得ることなのであれば、
1:21:46	前回と今回、西田です。
1:21:50	状況としても違うんで、その汚染の恐れがない分っていうのは、クリアランスの観点で決められてるものでもないんで、どこで測定するのかってかんがみるとか、電力からすると、ご専門する陸域当選の恐れがない区域あって汚染の恐れがない県域でやるんだけど、
1:22:10	繰り返わず、観点で決められてる場所でもないんで、あそこでやるんだとすると、どういうことに留意するのかっていうその属性や考え方を整理して提示すること。
1:22:22	ていうのがあるのかなとは思ったんですけど。いや、前回も同じなんですっていうことなのであれば、いずれにしてもそれは
1:22:33	整理して求め白で出してもらえればと思いますけど。
1:22:38	もうちょっと前回、今回違うんだったらちょっと会合で確認してもいいのかなとは思ったんですけどね。
1:22:43	測定エリアの考え方、測定エリアの、
1:22:47	岩盤場所選定が10分かつ前回違うんだけど、今回こう変えたんであれば、クリアランスとの関係でどういうエリア設定の考え方なんですか。
1:22:58	テーマを整理して、出してもらおうような、
1:23:02	形にしてないのかなと思ったんですけど、ちょっとヒアリングで確認してもいいのかなと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:10	1人だけですけどもさっきの、今度ある2行0の方に行きたいんですけども、あれに0って分母に入ってる値じゃないすか。だから、
1:23:19	ああいう2イコールゼロの時が一番放射能の値としては大きくてわけですね。では1で、
1:23:27	そのあるイコール0根拠で、
1:23:33	放射能を大きく評価するように換算係数を設定してるからっていうのが書かれてると。それは、その設定のマージンがR=0位ぐらいの、
1:23:48	ある日程、
1:23:52	何でしたっけ。
1:23:54	放射能換算係数の相対不確かさ。
1:23:58	本来だったら例えばゲルマの効率校正の不確かさだったらまあ大きっても数パーセントぐらいなら、もう事情したら、ほぼ無視していいぐらいな、本当そうじゃなくてそれに今度は換算係数として、
1:24:11	いろんな要素が変わってくんで結構大きな値になるというところでここ、
1:24:15	入ってんじゃないかと思うんですけども、その程度が、
1:24:20	課税件数のマージンをとった時のマージンで吸収できるぐらい。
1:24:25	実際の小ささであるっていうのが、
1:24:28	どっかに書いてないと。
1:24:30	ある人をゼロにしますと次行けないんじゃないと思うんですけども。
1:24:35	あれに聞こえるってゼロなんのためにするって書いたんですけども。
1:24:39	今できるぐらいの、
1:24:42	Rの値である、もしくは、その程度をマージンで吸収できるというのが、論理としてはないといけないと思うので、ちょっとその記載するかしないかについて検討いただいて必要があれば、
1:24:55	記載していただくのがいいかと思います。それで、あるIIのところですね、今いただいた後付議させていただいて、単純に換算係数保守的にやってるからということではなくて、少しロジック立てて、記載するようにしたいと思います。
1:25:13	平瀬社長。測定の不確かさといいながら、まじって、下がケースを保守的に持つてくことによって、
1:25:23	それを不確かさで見出してるような考え方なのかなとこれ読んで感じたんですけども、そもそも、規則に出てるところ、まず測定の不確かさ、DはCについて求める。
1:25:39	最後付けるものですね。それを1.645シマ上乘せしてそれでもクリアランスの基準規制値をすぐ下回るということをもってオーケーとしてるはず。ということは、測定の不確かさをずっと評価していかなくちゃいけないと思うんですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:54	測定の不確かさって、実は定義された言葉で、
1:25:58	なぜいろんな誤差いっぱいあるのだとパーツと振り込んで計算して出るものではなくて、低循環ちゃんとあるはずなんですね。そういった、企画課阻却の 98-3 とかいう、
1:26:13	不確かさの表現方法についてというような文章があって、それにきててされてる言葉であって、そこに求め方は出てるわけですよ。
1:26:25	例えばそれに従うと、
1:26:27	不確かさの要因っていうのをピックアップして、その前に測定のモデルってのを作らなくちゃいけないと思うんですけども、ピックアップして、病院ごとの要因ごとの不確かさを評価して、
1:26:39	それぞれの要因が、最後のDivaCに与える影響感度係数って言いますが、それを評価して、それをなさって、この表にして最後足して構成表上不確かさを出して、包含係数出して核種精査すると。
1:26:55	今そこんところは、1.66 だったらそういう扱いになってるかもしれないんですけども、その手順がここ出てないですよ。
1:27:03	唯一出てるのは、不確かさの何か何倍とかいうのがあって、それは評価の一部ではあるかもしれないけども、
1:27:11	不確かさは最後、ビーバイシーについて作って、その全部の流れがどこかに書かれてなくちゃいけないと思うんですけども、それはどこに書かれてるんでしょうか。
1:27:21	わかるんですおっしゃっていただいたところの、1.6 人のCIGMAのところと、換算係数を出し方が少し、ちょっと別章になってしまったので、そこでわかりにくくなった。
1:27:32	と思っています。まず放射能濃度の決定としてはですね、計数率と、換算係数と重量で、放射能に求めて、放射能戻す。それが結果的に抜糸になりますので、その意識の中で出てくる項目が、
1:27:48	私とそのすべてのはずだろうというところで、まずは計数率と、換算係数と、今回、記載してなかったので、おっしゃる通り追記しないといけないと思いますが重量の話。
1:28:01	釜は思います。その利用技術率と、パラメーターを大きな括りとしては計数率と、換算係数と中量になります。ですので、まず、それぞれですね掛け算掛け算といえますか対応する放射能を求めたという事例があるわけですから。
1:28:17	そういうその三つの大きなパラメータの項目がありまして、それぞれについて、深掘りしてってですね、計数率であれば、一定の運用方針を出すことによって、それ以上私はそう見ないと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:29	いう、ある種設定値みたいな考え方にしているということが直接納得せず、確かに記載はしていないかなと考えておりますので、できれば記載したいと思います。さらに換算係数についても、パラメーターがございますので、それぞれについて、
1:28:46	その不確かさがもちろんあるものですが、設定としては保守的にするので、それ以上の不確かさを考慮しないというような言い方を、それぞれの全部パラメータが見えるような形に、
1:28:58	してですね、最後重量については、重量計で測っております、産業規格は従うようなもので、ほとんど差がないものですから、あそこは無視するみたいな感じかけ外してそのすべての項目が見えるような、
1:29:12	要はモードベググリーンパークの決定まで、島地橋今同じ場所までわかるような形で、一つに、ちょっと少し整理してですね、見えるようにしてですね、今回は剛性の標準確かさではなくて、
1:29:26	それぞれの安全パラメータを保守的に設定していくことによって、全体的に不確かさを測定業務の出し方とするみたいな、そういう整理して記載するようになりたいと思いますので、少し
1:29:40	1度、何と申しますか、資料で作成してお店に来ていただきたいと思います。はい。よろしくお願いします。それで、
1:29:51	例えば今おっしゃった、そこは独自の話だけど、そういう理由ですけど、他、技術で、核種組成なんてやってるなんか核種組成比の、
1:30:01	不確か参加パートを見ますから、数学も参入しなくちゃいけない。それとマージンを持たせるから、不確かさも考慮しないっていうのは、
1:30:12	多分不確かさという言葉の定義には合っていないんですね。
1:30:17	今までのその電力事業者さんの流れで作業の流れとして、周りを持たして、保守的評価にするっていうのは今までの流れではあるなとは思いますが、
1:30:29	不確かさって新しいパラメータ
1:30:31	導入したときに、それをずっと続けると、何か世界から遅れちゃうような気がするんですね。
1:30:38	うん。谷中星不確かさを完全に導入し始めたとした場合に、マージンでずっとやってるといえるのは、どっかで乗り換え所が出るんじゃないかなと。
1:30:51	今回もそれでどうしてもやるんだっていうならば、マージンを持たせた評価の仕方が、いわゆる画面に従った不確かさ評価と、
1:31:01	である、もしくはそれより、やはり保守的であるというところを、ちゃんと説明していただかないと、少なくとも規則で不確かさを要求する以上は合致しないと思うんですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:13	ところが、ちょっと説明でもそれも画面に従って計算するのが雑駁かなと思うんですけどもね、もうちょっともう一度検討して入れちゃったいただいた方がのちのちの通りに、
1:31:26	いいんじゃないかと思うんですけども、辻川樫さんもありがとうございました。
1:31:30	それぞれのパラメータに対してですね、20日に不確かさみたいなのを出せるような項目が多いですね。最終的には剛性標準不確かさみたいな出す方が、
1:31:44	合理的だと我々考えていますが、例えば汚染の分布のようなものも一つのパラメータパラメータという考え方をして仰りまして、
1:31:54	そういったものをなかなかこう、標準偏差といいますか、ちょっと不確かさを出すことが、経営力が難しいようなものも、この中にはございますので、そういったものはもうアンゼンガワニといいますか、例えば最大値を使うとか、そういうことによって、不確かさはもうないものとした方が、合理的であるようなものも、
1:32:13	我々そう思っております。従って通常の何かしら表示へ不確かさ評価できるような、そういうパラメータだけですべて構成されてるようなときは、
1:32:24	おっしゃるようなもんね従った計画の方が、ある種、今後の世界観というですね、最最初の二つが評価として、
1:32:36	遅れをとるようなことはないと思うんですけども、なかなか難しい項目もあるということは、いずれ先ほど説明したようなですね、不確かさの全体像といいますか、DPCを計算する際の、
1:32:50	全体像を見せしながら、ここはどういうことで、不確かさを、としてですね、ある種最大値を取るんだとか、こういう考えを取るんだっていうのは、説明をさしていただきながらですね、最終的には、
1:33:04	これで不確かさとして今見直すというような言い方をしていきたいなというふうに考えてございますので少し資料の中に入れさせていただいて、はい。よろしくお願ひします。蒲生は、
1:33:16	河島ガウспルームではなくて、もっと取り上げられたような分布も対象にできます。なので、また、
1:33:26	その繰り返し測定で評価しなくちゃいけないわけではなくて、例えば何か測定器のスペックがアプラマイク関田それを、学部の中にどうやって取り組むかというふうなことも、
1:33:38	対応可能なように作られてますから、かなりの広い範囲が適用できると思います。多分、今考えてるを考慮される。
1:33:48	が、今、適用できないと考えられてるようなパラメータについても、多分それを乗り越えることは可能だと思いますんで、ちょっと一度諦める前に検討いただいた方がいいと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:59	ちょっといいですかね。見方の関係があると思うので、麻生千野さんいますから、その辺すべてがすべて不確かさに対してやるっていうのはなかなか現実的じゃないところもあるかなと思いますが。
1:34:12	一方で、今回、前回の申請だチェックから時間がたって、規則できてますので、その適合性という話が病床出てくるという中で、正しい数を考慮して考えた場合と、
1:34:27	同水準以上のやり方をしているという説明は、ちょっと追加が必要かなと。ただこれ、前回の審査の時にもこの辺の話に出たので、あらかじめ審査会合とか面談等を通じて、確認をさせていただいたところですけども、忘れよう審査基準に対する適合性、アドヴァン一戸に対する説明。
1:34:47	要は、もう少し丁寧にされてないなっていう気がします。
1:34:52	もちろんその最大を専門で使ってるされてるので、そういうことも含めて、すべてがすべて打たせずやったほうがいい、いいわけではない部分もある。
1:35:01	という先生は前回前だと思うので、そういうところも含めたことは少し、何らかの説明された方がいいという、
1:35:16	ちょっと私も前回申し上げましたけど、会話で、やっぱりその前回と今回何が違うのかっていう審査基準が制定されましたっていうことなので、
1:35:27	不確かさについての何かしらの説明を求める感じを付けは、
1:35:31	出して、今回、
1:35:35	中部電力が考えたその審査基準で制定された不確かさについて、今回どのように考えましたってのは普通にご説明してもらえればいいと。
1:35:46	思います。なので、それを淡々と説明してもらえればいいと思いますけど。
1:35:52	返し方を待たせますけど、一つちょっとあんまり脱線しない。審査基準との関係でちょっと整理したほうがいいと思いますよ。
1:36:02	一応中央、
1:36:06	私、何か不確かさについて何か説明してくれみたいな感じの遠いと思うんですけど、こうこう変えましたとか、こう、こういうことですから説明すればいいと思うんですけど、一応審査基準に
1:36:18	不確かさの具体的な例みたいのは書いていて、それに照らしてこれについてはこう考えました。これについてはこう考えました。
1:36:28	という形でやらないとちょっと脱線するから、
1:36:34	駐車場の審査基準に書いてる不確かさのそれぞれの項目についてちゃんと確認しないとイケないので、ちょっと審査基準で要求最低新不確かさの部分を今回等、
1:36:47	整理したんだっていうのでちょっと犠牲にもらって資料を作ってもらったほうがいいと思います。それは対応できますよね。はい。不確かさのところは周知しています。先ほど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:03	少し抜けておりましたけども、フォーバル小松だけじゃなくて、カードの推進の不確かさも当然ございますので、資材基準適合表の方には、
1:37:13	そちらの方も、学生方お持ちで候補者の方が決定するものもありますので、小嶋だけではなくて、そういったところの不確かさん、購入しているのでは、記載してございますので、ご質問あった場合は審査基準の提供をしているところを説明させていただきたいと思います。
1:37:33	社債の修正は難しい話であって、さっきよりはある程度検定等を使って、また上方に設定するってことでやらざるをえないわけです。
1:37:44	明日も少ないですし、その辺はやっぱいろいろ組み合わせがあるところで前回審査の時にどうしたと思うんですけども。
1:37:51	それはもう、基本的あれ、あの時はいいとしまして安全審査基準のことを考えてやったと思って、あの人がないと思うんですが、そういう説明をちょっと県で、こちらでした。
1:38:14	ちょっといいすか。
1:38:18	審査基準、代表、いつも審査書いないからしたいんですけど。
1:38:26	3対1のこの評価対象核種がC配りはCの90%以上となるように、この、
1:38:38	32なんでしたっけ33じゃないんですか。
1:38:41	整備がカワイです33が要求ですんで、33だけど何で35万でしたっけ、二次的な補正に対してはですね、放射化汚染で、それを無視したようにですね。
1:38:56	トリチウムについては、汚染の程度のところで記載しておりますが、この100分の1といえますか実際1000分の1程度以下となっておりますので、
1:39:08	放射光線は全角shall瞬時している考慮していないわけですがけれども、遠い中についても、無視できるだろうということをもって、土日を除いた32核種。
1:39:22	の濃度を設定してございまして、そちらで評価をしてください。
1:39:28	審査基準は33からクリアに90%なんじゃないんですか。
1:39:35	審査基準は相当です。32から90%以上にしました。
1:39:43	で、書けないんじゃないって。
1:39:48	土肥チームの話はわかるんだけど、
1:39:52	32から90%になっていい。
1:39:56	そういった中で布川磯野記載する、記載してなくて、少し恐縮ですけども、今入れても、各施策影響ないといえますか、そういう記載をし、先ほどの、
1:40:09	放射能汚染の関係、二次的な汚染保護者構成の関係みたいな形で、北条補正を考慮する、しても、影響がないような言い方としてですねさっき、そちらの溝的な汚染の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:23	33 核種に関しては、審査基準では確かに 33 ですけれども、二次的な汚染の、トリチウムに関して、影響度が低いことから、考慮しなくても、この審査基準に合つと同等の、
1:40:39	評価ができてると、少なく 90%を選ぶときに影響はしないというような言い方で記載させていただいた方が全体としては
1:40:51	そういう整理が一つ相手としてあります。
1:40:54	そのぜひはちょっと判断できないんですけど。
1:40:57	そんなのありなのかなっていうのも幾つか書いてないんじゃない。
1:41:02	審査基準でその 33 から 1、90%とクリアカットに書いてるんだけど、
1:41:08	ある所定の核種が、何かトリチウムの話とかは、何とかだったときにはどうし、どうせいいとかっていうのが、
1:41:18	入手されてないんじゃないかも。
1:41:20	そうプラスアルファで審査基準。
1:41:23	そう。を改定していいのかな。そう。なんかちょっとそこはわかんないんで、トリチウムを考えてないわけじゃないわけですよ。
1:41:34	濃度を見た上で、33、要はCODば強いのが分母にあって運営は評価対象核種リンパ腫入れていくときの下には入っていません。規制庁の浦として、今後審査をしていく中で、
1:41:49	審査基準適合すんでるときに、書き方の問題だと思うんですけども、33 から選んでずっといってもらわないと、そこは特別扱いになっちゃうんですよ。そういうことを望まれますかということは聞いてると思うんですけども。
1:42:02	すべて審査基準の適合性点で判断をされて、前回ゲンキーの中で果たして確認してある、組織の中で使うやつ評価式先がありますので、SSSの程度であればっていう時に、書き方として、32%以下というふうにされるとこうやって、審査が違うことやってる話だった場合に、
1:42:20	違う理由とあって、時間外ですけどそういう道をとられますかってことかと思えますけど。
1:42:26	住民の方からですね、S32 で評価すること自体は 33 で評価すること自体が、そのトリチウムと他の核種の比率の設定になってしまいますので、
1:42:39	そこは現実的には 30 人でやりたいですんで正しい、鳥居町は考慮してないわけではなくて、汚染の程度を見た上で、選定してるものですから、あそこのかけ方も話かもしれませんが、
1:42:54	そういったところは、前回も 32 から選んでございますので、補助率は十時各種ですから、各種必ず入れるというところがある種担保であったわけですけども。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:07	今回そこ除いてるところもあるので、適用性という観点では、実際 32 から選んでいるんですけどそれ値を無視してはなくて、影響度を見た上で選ぶ必要ないというふうに判断したというような、
1:43:20	あくまで立て付けは参事さんから選んでいるというふうに、積載し方としてトリチウムはわずかなので、明記はないものとして、32 から、その後段で 32 回選んでるっていうな流れで、
1:43:34	トリチウムを入れてクリアカットに数字出せないんですか。
1:43:39	今エキスパートジャッジメントで鳥居チームは入れないで、32 からクリアカットに 90%以上になるっていうのを数字として出しましたってことなんですけど。
1:43:52	審査基準との関係はトリチウム入れて、90%以上の数字んしないといけないんじゃないですかね。一部入っても、90%以上はできないんですかね。
1:44:06	ということですよ。そうそう書いて欲しくて、安心パックとして、90%以上である 30 日 39%ございませんけど、そのバーコードには、
1:44:19	プリントアウトは 90%なんですよ。ですから、駄目なんじゃないですか。審査基準に適合しなかった。
1:44:27	あとトリチウム入れちゃうとそう言った。
1:44:30	以上ならない、読めるような方は、この段階で少なくともおかしくない。うん。ちょっとそれ自体も違いますから。そう。クリアカットに 33 から 90%って言われちゃってるんで、その。
1:44:44	30
1:44:46	って言われちゃうとちょっと困るんで、ちょっと会合でもちょっとしていきたいと思いますが、ここもあります、多分、トリチウムを入れて、
1:44:56	何するか。
1:44:59	そんなも入れないで 9 分にするか、結局じゃないですか。そりゃそうでしょ。多分、同等というか、安全側の評価の中でも、
1:45:08	ていうのが、何か前回そんなことを聞いたようにするんですけど。
1:45:11	だから、前回、33 核種から、90%を選ぶのと、31 人地方除いて 32 から 19%選ぶのは、
1:45:24	こっちの安定側ですっていうのを、
1:45:27	多分示してたと思うんですけど、多分そういう書き方にしないと、審査基準に合わないですよ。でもそうなんですよ。田部井久野からですおっしゃる通り前回の認可ではですね 32 からが選んでございまして、それ分母がですね、32 から 33 であって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:45	羽鳥町に入れてない方が、わずかですけど、小さくなりますので、そこから選んで行った時にそのパーセンテージは、高目になるという分母ガスわずかに小さいからですね。
1:45:56	そういうところは前回の申請書の中でも、記載していますので、そういった記載を今回追加してですね、30、審査基準要求は 33 からなんですけれども。
1:46:09	32 核種から選んだ方が、その 90%を計算する上では、安全側になるというような、そういう書き方をした方が、いいというのはその通りじゃなくて、そうですね。はい。
1:46:22	なんでこれはちょっと会合でも宿題で言いますと、審査基準等の叩いや審査基準が制定されて、それとの対応を確認する発の。
1:46:34	中部電力の 1 号 2 号の再発だからそこを確認したいというその観点で、
1:46:40	一番最初のその、
1:46:42	90%のやつが 38 点でその残りを、参事さんも含めてどうなんだみたいな、整理してくれとかそういう話にしようと思ってね。で、
1:46:56	とさ、ちょっとさっきのあれなんですけど。
1:47:02	これは会合ってまとめ資料で欲しいんですけど
1:47:07	1 ページのこの 3P3 の放射能濃度確認対象物の話。
1:47:13	具体的には浜岡 1 号 2 号のタービン設備の時掲載復水系冷却水系冷却海水系統原子炉設備サプレッションね関連設備、
1:47:26	非常用昇進冷却系統とかあるじゃないですか。これって要は廃止措置計画の設備なんすよね。
1:47:32	中で、沢川です。廃止措置計画で解体が、すべて廃止措置計画と記載が一部一緒かと、そうそういうことです。それは一緒ではないです。一緒じゃないですか。なるほど。わかりました。
1:47:48	何名政府何何の規制の当初と設備が一緒なんですか。設置許可、設置許可やつで、敗訴し計画の方ではより
1:47:59	具体的といいますか格納容器設備とかですね他のす。名称になってますので、わかりやすさみたいなところを踏まえると、原子炉タービン等の方がわかりやすいんじゃないかという。
1:48:12	わかりました。いや、単にこの設置許可でも廃止措置計画でもいいんですけど、認可申請書のここの、
1:48:19	出てる設備の抜粋を方まとめ資料でもらいたいですと。
1:48:25	いやそのすり合わせ対象の設備名称があつてそこは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:31	設置許可に登場するのか廃止措置計画に東條支店の加瀬公園登場してるのか わかんないんですけど。
1:48:37	一体どこのことを言ってるのか。
1:48:40	ていうのを単純に、
1:48:42	申請書の抜粋を、いかがが機械ですってということでその辺り、大丈夫すかね。確認し まして、何とか通りなんていうんですか、頭になって、
1:48:53	搬送っていうのは重要としてわずかなんですけども、他のものがございませ んので、必要であればいたします。ちょっとそこも、
1:49:02	申請して僕がいいとか何だろうと思いましたが、思ったんで。
1:49:11	はい。
1:49:13	ちょっとそれは宇井橋場なんで今回の本確認対象物の、
1:49:19	登録してる。
1:49:22	エントリーしている設備名称だんだんなり、許認可の上昇等の対比で許認可の調 書の抜粋を単に取り入れてもらえればいいですと。
1:49:36	ちょっと次 2 ページ目って、
1:49:43	局全体なんですけどこの審査基準との対応で説明されてないなど。
1:49:51	先行事例においてって言ったってそれはそれでわかるんですけど、その、
1:49:57	審査基準との関係でちょっと何か整理できないんですかね。
1:50:04	いや放射化汚染放射化計算、ともにおじさんする場合には使用実績ある放射化 計算構造にしないか。
1:50:12	入力パラメータを合理的な範囲で何とかしてくださいってとかがあって、それはそ の先行事例でやりましたっていうロジックだと思うんですけど。
1:50:23	それはそれでいいんだけど、その先行事例で書いてるものが、この審査基準に照 らして、対応してるものなのかどうなのかっていうのを確認しないといけないので、 それをやってもらいたい。
1:50:39	場合によってはちゃんとその、
1:50:41	先行事例についての説明もここで申請書で書かなくていいのかっていう議論はあ ると思うんですけどねその、先行事例に全部ゆだねちゃってるんですけど先行持 論で審査基準との対応は見えないもんですから。
1:50:56	先行事例で〇〇っていうのをやっております、
1:51:01	書かないかとかって議論もあるんで、
1:51:04	従ってちょっとこの審査基準との対応を図られているのかどうか分からないんで、 ちょっとまとめ資料としては修正してもらいたいですと、後、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:15	伝わってますが拝承しました計算構造等、今いろいろございますがそれと直接、先行事例の中に少し入って、直接見えてないってのはその通りですので、
1:51:26	ここ先行事例と、本日はその中身を計算コード対比するような形で、あと計算条件ですかね、そういったところをしっかり書きたいと思います。はい。
1:51:39	郷委員この。
1:51:41	2 ページ目のP7 で
1:51:43	放射化汚染の影響を把握するためにサンプルを採取しましたってということなんですよね。
1:51:52	はい。本文表 6 に示す通り、
1:51:55	でいいのでサンプルとりました。
1:51:57	そのサンプルの選定の考え方みたいのがちゃんと説明してもらいたんですけど、この資料に入れ込む申請書には、
1:52:10	あるんですけどもこちらに入り、申請書にある本文に書いてんでしたっけ、表 6 に書いている。はい。
1:52:18	いや、つまりその協力の多分注釈 2 放射化汚染の影響が最も数が把握できるんじゃないかと思ひましてこの場所にしましたってということなんだけど。
1:52:29	それはそれにちょっと足りないような気もするんだけど
1:52:34	まずまとめ資料レベルでいいので。はい。
1:52:37	サンプルを選定した。
1:52:41	場所はこういうところでこれは、
1:52:43	多分こういう理由で、当社顔線を、
1:52:49	ハークスレイで、この場所だといいいよねと考えました。
1:52:54	ていうのをちょっと資料で提示してもらいたっていう。
1:52:58	ことです。
1:52:59	その上で申請書に書くのかないのかっていうのは、カッコハンだと思うんで、ちょっとまずちょっとファクトとして、
1:53:10	拡張して書いてるのはその担当者を 1000 個の場所だったら、なんかよくわかると持ち上げましたっていう話しか書いてないと思うんで、ちょっと解説してくださいと。
1:53:23	で 3 ページ目で、
1:53:28	も一緒なんですけど、P1011、1 ポツ目の本文の記載ある真ん中劣勢、トリチウムの汚染状況は、本文表 8 に示す通り、代表サンプルとりまして何とかでしたか転籍後の代表サンプルを、
1:53:45	どういう理由で増の場所にしたのか、選定の考え方を教えてくださいと。
1:53:57	で 2 ポツ目のところで相対比率計算法なんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:04	何と何の組成比ってのは書いてんでしたっけ。
1:54:08	中部電力の河合です計算としてはですねCPと駅に各地で分けてございまして、CPというのは
1:54:17	今まで行くと60と相対監査しているものですので、NPDじゃ接種の代表核種としているものでして、そういった記載はありますが、この表自体に確かに、
1:54:30	記載はございませんので、少し何を代表してるかっていうところは、記載したいと、申請書に書いてますし、いいですか。
1:54:43	表があった方がいいような気がしますけど。
1:54:48	任せますけど、はい。
1:54:52	こそ、
1:54:55	評価に用い放射性物質の種類が幅広く選択されるよう、
1:55:00	合理的な範囲で計算条件を設定して書いてんすよ。合理的な範囲でっていうのは、
1:55:07	審査基準をコピー&ペーストしたんだと思うんですけど、これってどういうことなのっていうのも解説してください。はい。自分はカワイです。12号機のですね、照射条件を踏まえてですね。
1:55:23	評価、それぞれのサイクルをですね、均一にし、同じように平均化させてございますが、そういうモデルを照射条件作ってますので、そういったところを記載をさせていただきますと。はい。
1:55:38	なんで、まずは、ちょっとまとめ資料で合理的な範囲での解説をしてくださって言う通りにしてみてもらって、その、
1:55:48	回答ペーパーを作ってもらえばいいと思います。
1:55:51	さっきの紹介比率のやつも何かこう一緒にもらいますとそういう回答開示がされちゃう。
1:55:58	相対比率計算上、ちょっと具体的に教えてくださいっていうふうにしてもらって。
1:56:03	ホールディングの室長先ほど取り組みの代表サンプルの検討、相対比率の話も、アプリサポートミッションというのを今年を入れ込むわけでは、この資料じゃなくて別の、わかりました。
1:56:16	対応できていくことをあんまり想定していなくて、申請内容をちょっと明確に理解する上でのまとめ資料とコンテックすいません。
1:56:27	少しさかのぼって確認させていただきたいんですけど、放射能計算の計算コードだったり、合理的な範囲でっていうところの回答資料というような、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:41	同じ輸送ですね。わかりました。該当し、中性子の放射化汚染の代表サンプリングについても、白水で一応ちょっとそれを、ひよっとしたらこの中の何とか会合でもいいかもしれない。はい。
1:56:57	会合できるかもしれないし、ヒアリングでやるかもしれないちょっとわかんないんですが、遠いとしてはちょっとストップしておいてもらいました。ちょっと回答する準備もしといてもらって、
1:57:09	会合の時間限らず、
1:57:13	発想は、
1:57:22	後、例の 6 ページ目の、
1:57:26	1.6 トンをするの話はちょっと多分会合で指摘したいと思いますね。
1:57:36	6 ページ目の P4-1 で
1:57:38	本人としては 10 トン以下とする。
1:57:41	10 トン以下までは認可で、
1:57:45	今回実行委員会までは許容されているって認可を取るんだけど、添付で、いや実際は 1.6 トンとするってことなんで 1.6 トン以上はどう。
1:57:54	捉えればいいのかっていうのは多分議論だと思うんでちょっとそこは多分、西郷でもいると思います。
1:58:09	km 負担。
1:58:11	そうする。
1:58:28	基本検査、これ
1:58:30	朝鮮物として除染とかするんでしたっけ。汚染があるところに当然挑戦しててクリアランスする、除染するってのは書いてるんですが申請書には、
1:58:42	ですね除染という行為は書いてございますがなぜかと言いますと核種組成比法を適用しますので、その核種組成比の設定に使っているデータは当然除染前のデータになりますので、
1:58:56	物理的な除染をしなければその比率が変わってしまうと、いうことも、例えば学的な除染とかであれば、すぐ変わってしまいますので、そういった助成のところも実際はして、はい。
1:59:15	スタッフ規制庁の佐田基本的な雰囲気ですか、これって今、電力大で、標準的な仕様書を作ってると思うんですけど、その適合性ととらえて難しい。
1:59:26	中部電力の場合です標準化の話は電力大であるってのは承知してるんですけども、まだ固まったものがないので、そう、標準記載要領準備作業標準化は確認します。
1:59:43	それと整合削減されない。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:49	は毎回、多分、審査も最初から最後には滝川と思うんですけど、その必ず終わったら、標準記載要領、今回の審査を踏まえて標準記載要領を改定する必要がある。はい。電力でまた話し合ってくださいね。はい。いいかもしれないし。
2:00:05	今回作る上でその標準記載要領が役立った訳だったのかどうか、今聞くかもしれないなくて、いずれちょっと標準自体湯浅多分どっかですとは思っていますので。はい。
2:00:17	お願いします。
2:00:24	私も、基本的なところだけ、
2:00:29	タイシャブツとしてサポート課ってのはあると思うけど。
2:00:32	これ、すべてがその人的汚染があるものではなくって、
2:00:38	放射能汚染だけっていうのもある。中部営業部の河津放射構成員はですね代表のところでも保守的な評価をし、分析結果出ないっていうのを確認していますので、
2:00:50	そのサポートっていうのは不着二次的な汚染協議です。なるほど。はい。はい。高津坂支持するような構造物、それもまだ主蒸気に。
2:01:03	内野が触れていないものでして、実際はそのエリアとしてですね、汚染の恐れのあるエリアで、そういうサポートがあったものですから、実際汚染はしていないんです。
2:01:15	ただし、それはもう逆にONRというものができませんので、クリアランスというか、制度で対応しております。
2:01:24	そんなところは、多分、実績としてあるところは除染するんでしょうけど、直線性ができるっていうところは、どうやって選定されてるんですけど、とですね必ず測定はしますので、なるほど表面汚染測定、はい。
2:01:40	総計という訳っていうことはなく、必ずすべてのものは表面すいません測定をします。表その表面汚染密度測定の判定値は幾らで、提案です。20.820.8円。それは全部測ってるお客さんですよ。
2:02:00	しますよね。助成するかしないかの判断のときに、最終的な料金の前の表面水の測定の前に事前に確認するっていうような行為ももちろんありまして、
2:02:13	そこでは、仮に代理で測って汚染があるようでしたら、除染するっていうような除染の要否の判断では、事前に測定することもあります。
2:02:30	はい、平井委員これ、その中、確認されたことありますが、すみませんヒアリングありがとうございましたのコメント踏まえた回答資料という形で、コメントをストックしつつですね。
2:02:47	準備を進めて参りたいと思いますんで、審査会合ではすそれ自体がですねかえってしようとはならないと思うんですけども、いつごろといいますか我々の準備でき次第、審査会合等の時にはなるかと思うんですけども。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:04	順次、お出しして相談させていただくような、そういう進め方でよろしいでしょうか。この会合前のヒアリングはもうないわけですよね。なので、その、
2:03:16	ちよっとうちの庁内で大体話しもわかったんでちよっと会合でどうするのかって相談を、今週来週かけて準備して、
2:03:27	再来週の開校臨みたいと思いますので、
2:03:32	思いますということで、ちよっと準備はしといてもらって、バックしてもらうのは、ちよっと会合の後だと思いますねその会合の指摘なんだとすると、それは次の会合で回収まで来まして、
2:03:47	会合の席じゃないやつやんであれば、ヒアリングの場で返してもらえばいいと思うので、ちよっとまずは、介護会合資料はもう今できてるから、その、
2:03:58	このパワーポイント審査基準の対応表リバイスなった時は必要ないので、
2:04:03	説明してもらって、形で、一つの資料といいますか概要説明資料の後ろに、これが資料として同じファイルでっていうのは、作り方を任せます資料1-11の日程はい。
2:04:19	多分別々には駄目ですし、1回で。
2:04:25	それはまたそういった社員に一番前回やった時に、こういうおっきな話と、小さな話がいっぱい出てきて、
2:04:36	事業さんの方で、リスト化してまとめていただいて個別に回答いただきましたよね。多分、おんなじように、強度が全部話してたんじゃないので、次の多分審査会ごとにおっきな課題が必ず来るのは、
2:04:51	ついて当たって、1回確認したいこととか、これはちよっと確認してまずいかなってことがありますので、それはまたその時にお話しますんでまたリスト化して管理いただき、どうやったのは番号付け確かその表に出されて、
2:05:08	これについての回答してきた感じで答えていただきましたよね。ちよっとおんなじように細かい課題、多分不確かさに関しても、おっきな話と実際それを扱うところいっぱいありますので、
2:05:19	それをまたリスト化して管理して、議論できればなと思いますそれでよろしいですか。はい、ありがとうございます。そのようにさせていただきつつ、コメントもですね、今いただいた内容も、
2:05:32	認識を合わせるために、我々の方でリストを作ってですね、こういう質問であったかっていうところも確認を並行していきたいと思っておりますので、整理でき次第、都度共有させていただいて、それが今後追加していくということですね。はい。
2:05:47	ちよっと会合の後にちよっと交通整理と面談をしたいとそうですね。はい。
2:05:53	という形では、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:55	技術的には結構ステイに改良とかいっぱい、赤瀬さんは、ちょっとどこまで出すかってのはちょっと異なりますけども、前回並みぐらいには、そこそありますので、ちょっとそれは準備よろしくお願いします。
2:06:12	はい。本日は終了したいと思います。どうもありがとうございますありました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。